

## 進路講演会～この冬に助走をつけよう～

12月19日(木) Benesseの先生にお越しいただき、11月の進研模試の結果の“使い方”を中心に3年生0学期にむけた学習について講演していただきました。大事な3つのポイントだけおさらいしておきましょう。

- ①**正答率50%を目安に!**(どの教科どの大問でどれくらい正解する必要があるか)
- ②**苦手を克服!**(問題別正答率のグラフを“使おう”)
- ③**冬休み中に3点固定!**(起きる時間・勉強を始める時間・寝る時間)

## 第4考査講評②

## 【化基】

今回の試験範囲は、『酸化還元反応』と言うことで、酸化還元反応のほぼすべての範囲を網羅しました。出題者からすると皆さん良く頑張って、練習して覚えたと思います。酸化剤・還元剤の半反応式、 $e^-$ を消したイオン反応式、化学反応式とすべてにおいて文系であるにもかかわらず“記述で”答えることができました。今の理系にも出来ていないことです(アカンけど)。これは、プリントなどを使い練習を行ったからだと思います。忘れないように維持してもらいたいです。若干、化学反応式に直すところは出来ていない人が多かったように思いますが繰り返し練習してみましょう。文転してくる理系を“返り討ち”にする力については。

さて、文系の皆さんにとって来年からはマークセンスの試験が増えると思います。しかし、マークセンスばかりしても成績は思うように伸びません(答えるのが楽なのでですね。気持ち的にも)。では、どうすれば良いか。答えは【記述問題をやる】です。化学反応式書いてみましょう!化学式書きましょう!計算問題も選択肢無いものを取り組んでみましょう!つまり、ニューステップアップやりましょう!マークは、マークセンスになれるために、模試前、本番の入試前、怖い人は11月くらいからやりましょう。大切なことなのでもう一度書きますね。**実力を挙げる(底上げ)ためにはマークで無い問題を解きましょう。**マーク特有の引っ掛け、計算時間の短縮方法などは『化学基礎演習』でやりますよ。

## 【評論】

第四考査について、受験者117人の平均は49.0点でした。今回は出題範囲も広く、時間が足りなかったという人も多いようです。

「松に聞け～現代文明へのレクイエム～」は比喩を正確に読んでいるかを問う問題を多く出題しました。「蘇生」「鎮魂歌」などの比喩表現が何を表しているのか、迷子にならないように論旨を追ってゆきましょう。「国家権力とはなにか」については、国家権力の特徴が他の権力と比較される形で論が進みます。問(5)傍線部③「このことは逆に、国家権力の特徴がどこにあるのかを示しています。」において説明すべき「国家権力の特徴」は、本文全体をふまえてではなく、「このこと」と比較される形で示されている特徴です。傍線の前後をしっかりと読んで解答しなければならない問題でした。丸山眞男「人間と政治」は2010年に大阪市大の入試問題としても出題された文章でした。ホップスやマキアヴェリといった思想家たちの言葉が多数引用されていましたが、筆者がどんなことを主張するために援用しているのか、丁寧に読み取りたいところでした。

**冬休みの宿題は、『新現代文単語』単語番号357～456です。冬休み明け評論文講読の初回授業で小テストをしますので、しっかり学習しておくように。**

## 【Ⅱ発】(学年平均 約52点)

今回の考査は大別して「極形式と極方程式」「複素数平面」の2つの分野からの出題でした。前回の考査からの期間が長かったこともあり、「極形式・方程式」の学習内容をすっかり忘れていたり、最近学習している複素数平面での表記方法と混同しているような答案も見受けられました。同情の余地はほんの少しはありますが、やはりきちんとした整理までできていなかった証拠です。

今後、複素数平面での図形の方程式も学習しますが、ひとつの図形(例えば円)を、「直角座標」「極座標」「複素数平面」さらには数学Bで学習している「ベクトル平面」などいろんな視点で捉えます。これらが、今後いろんな場面で考察を深めるときの道具になります。RPGでもそうであるように、使える道具は多ければ多いほど楽しめます。是非立派な勇者になれるよう、頑張ってください。



## 【化学】

前回の第3考査で痛い目をみてほとんどの人が持ち直しました。難易度は前回と差ほど変わりませんが、平均点は40点→55点台後半になりました。中身をみてみると、1年次の復習が半分試験範囲にあったためそこで稼いでいる人、1年次の内容はびっくりするほど忘れているが、新たに習った分野や高得点の計算で稼いでいる人など様々でした。もちろん両方とっている人もいます。残念ながら1年次の内容を忘れている(授業では時間を割いて再度説明し直したよ)人が多くいてとても心配です。模試や実力テスト、本番の入試などは積み重ねの延長にありますが、このまま過去問や発展的な演習に取り組むことが可能なのでしょうか。第5考査からはまったく新しい分野に突入して行きます(物理選択者は最初有利です)。この冬休みは、もう一度基礎を固め、ニガテ分野を無くせなくても、少なくしておいてください。少なくとも”聞いたことがない” ”知らない” なんてことないようにお願いします。

3年生0学期と言われる意味は4月には解ります。4月以降は勉強以外の学校生活でもイベントが目白押しですよ。勉強にフライングはありません。

**これを読んでいる高得点ホルダーへ。今回の100点breakerは誰も倒せていませんよ。超難関、ヘンテコ問題でもありません。標準的な問題集でいうところの発展問題です。次回も挑戦者お待ちしております。**

## 【古典】

平均点は54点。古文【一】『大鏡』（花山天皇の出家）から敬語（尊敬・謙譲・丁寧、敬意の対象）を中心に文学史も含めて出題。【二】は問題集『十訓抄』から殆どそのまま出題。和歌・漢詩に対する当時の考え方を知っておこう。自力で解答し、解説を読んでしっかりポイントを押さえて復習すること。漢文【三】【四】は第三考査に続き『史記』から出題。項羽と劉邦に関する一連の紀伝体の有名なエピソード。

今回は古文も漢文も文法や語句の意味など基礎的なこと以外に、紀伝体のエピソードをどれほど理解できていたかが鍵。人物像・人間関係・歴史的な背景など、常識的な歴史の知識と合わせもって生々しいストーリーを味わいつつ、試験勉強できていれば嬉しい。実力をつけるために、内容を箇条書きにまとめる（試験勉強しやすいノートを作る）、現代文同様、指示された部分や言い換えを見つける、古文漢文独特の表現・言い回し等を音読しながら確認するなど、普段の勉強の仕方を振り返ってみよう。

試験直前、一夜漬けで問題集やプリントの解答だけ暗記して、流し読みで口語訳を覚えても一時しのぎにしかならない。間違ったところを解き直し、解答・解説書以外にもサポートブック、古典読解トレーニングノートをしっかり活用すること。

今まで手をつけていなかったという人は、課題・実力テストや模試に向けて積極的に取り組もう。

## 令和2年の予定

- 1月 8日(水) 始業式・課題テスト(国語・数学・日A【選】・化学【選】)
- 1月 9日(木) 課題テスト(英語GTEC・理科・地A【選】)
- 1月10日(金) 金4567火567

## < 課題考査範囲 >

### 【国語】

#### 【 現代文 】

- 『錬成現代文』P62~71(問題番号24~26)、P86・87(漢字語句の問題3)
- 『リアルマスター3300』P188~201

#### 【 古典 】

- 『錬成古典』P50~53(問題番号22・23)、P62~65(問題番号27・28)
- 『漢文必携チェックノート』P28~37

※なお、課題考査には、上記以外の実力問題も少し出題する予定です。

### 【数学】

- 冬休み宿題(数Ⅱ+B 青チャート)から6割程度
- 総合問題(数ⅠAⅡB)4割程度

### 【理科】

理系	
化学	2年第1考査第4考査までをやり直すこと。 つまずき、解けない場合はニューステップアップで類題を練習すること
物理	力学のうち等加速度運動・力のつり合い・運動方程式・仕事とエネルギー
生物	2年生1学期2学期の学習範囲
文系(マークセンス方式)	
生基	2年生1学期2学期の学習範囲
化基	第1考査~第4考査の問題+ $\alpha$
地基	2年生2学期の学習範囲(岩石・地質構造・地球史)

### 【地歴】

日A: これまでの学習範囲

地A: これまでの学習範囲+ $\alpha$